

# 東芝電動昇降吊戸棚 設置工事説明書

- 形名 BUC-AD90Bタイプ（食器乾燥庫）  
 BUC-AS90Bタイプ（収納棚）  
 BUC-AM90Bタイプ（水切棚）

## 安全上のご注意

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重大な内容を記載しています。  
 つぎの内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

### ■表示の説明

<b>警告</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷 <sup>※1</sup> を負うことが想定されること”を示します。
<b>注意</b>	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害 <sup>※2</sup> を負うことが想定されるか、または物的損害 <sup>※3</sup> の発生が想定されること”を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。  
 ※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど・感電などをさします。  
 ※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

### ■図記号の説明

	○は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	△は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告	
	設置工事は専門業者に依頼する ご自分で設置工事をされ、不備があった場合、感電や火災の原因となります。
	設置工事説明書をよく読み正しく確実に工事する 不備があった場合、感電や火災・けがなどの原因となります。
	ガス器具から15cm以上離して設置する 製品の熱変形や火災の原因になりますので充分注意してください。
	壁の強度と補強棧の位置を確認する 取付ける前に、壁の構造・補強棧の位置を確認してください。 十分な強度がないと、落下事故などの原因になります。
	本体は壁に確実に固定する 取付けが不十分な場合、本体の落下の原因となります。
	ねじはゆるまないよう、最後まで確実に固定する 不十分だと本体のガタつきや故障の原因になります。
	電気配線工事は必ず電気工事登録業者に依頼する ご自分で配線工事をされ不備があると、感電や火災の原因になります。
	電源は交流100Vで定格15A以上の専用回路を使用する 火災・感電の原因となります。
	電源コードは確実に接続する 接続が不十分だと、異常発熱の原因になります。
	電源コードを傷付けたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、 また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない 電源コードが破損し火災・感電の原因となります。
	アース工事を必ず行う アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
	扉を無理に開けない ●扉は耐震ロックされていますので少ししか開きません。 ●扉は昇降棚の下降動作と連動して開きますので、無理に開けますと故障の原因となります。
	本体を壁に取付ける前に昇降操作をしない 本体に傷が付いたり、動作不良などの故障の原因になります。
	本体と天井の間に幕板を取付ける場合は、本体と幕板をねじなどで固定しない 修理・交換ができなくなります。
	施工金具に取付けてあるねじは、はずさない 本体の落下事故の原因となります。

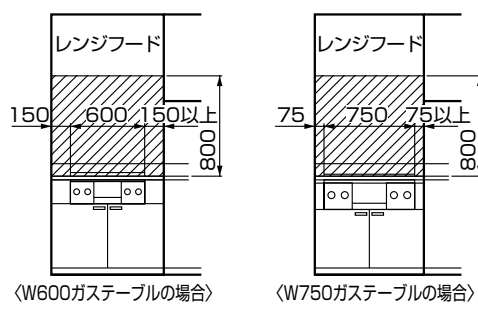
注意	
	本体が施工金具に確実に取り付けられていることを確認する 引掛けが不十分だと落下の原因になります。
	本体が斜めになっていないか確認する 斜めになっていると、本体に傷がついたり動作不良などの故障の原因になります。

# 1 はじめに（工事される方へのお願い）

（単位：mm）

- 設置工事は、必ず二人以上で行ってください。
- 設置工事の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。
- 設置前に電気配線工事が必要です。あらかじめ行ってください。
- 電気配線工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規程」に準じ、電気工事登録業者に依頼して施工してください。
- この設置工事説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 設置前の確認



- 火災予防条例（東京都）では、左図の斜線内に可燃物があるてはならないと規定されています。斜線内には設置しないでください。なお、これ以上に規制されている地域もありますので、地域の条例に従ってください。
- 昇降部分の下に物が設置されないことを確認してください。
- 下部に加熱機器（ガス、電気器具等）が設置されない場所であることを確認してください。

## 同梱部品の確認

■設置工事をされる前に、商品の損傷がないこと、同梱部品がそろっていることを確認してください。  
 ご使用時に必要な付属品は庫内に入っています。また、取付け時に必要な付属品は本体天面および背面に貼り付けてあります。

■扉は耐震ロックが働いていますので少ししか（約5cm）開きません。これ以上無理に開けないでください。

### ■食器乾燥庫 BUC-AD90Bタイプ

ご使用時に必要な付属品							
食器かご（上）				食器かご（下）			
1個				1個			
はし立て	水受皿	フィルター・フィルターカバー	取扱説明書				
1個	1個	各1個	1冊				
取付け時に必要な付属品							
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ	設置工事説明書			
1個	φ5×50mm 5本	φ4.5×63mm 4本	4枚	φ4×28mm 4本 4個			

### ■収納棚 BUC-AS90Bタイプ

ご使用時に必要な付属品				
棚板		取扱説明書		
2枚		1冊		
取付け時に必要な付属品				
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ	設置工事説明書
1個	φ5×50mm 5本	φ4.5×63mm 4本	4枚	φ4×28mm 4本 4個 φ5×35mm 2本

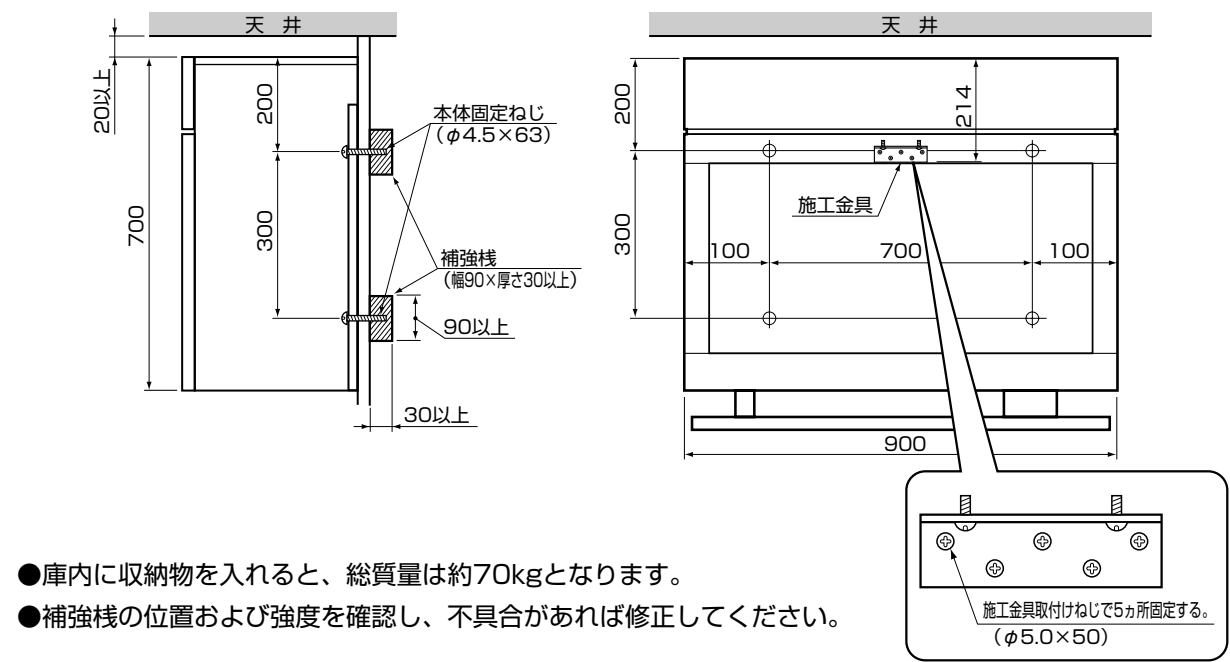
### ■水切棚 BUC-AM90Bタイプ

ご使用時に必要な付属品							
食器かご（上）				食器かご（下）			
1個				1個			
はし立て	水受皿	取扱説明書					
1個	1個	1冊					
取付け時に必要な付属品							
施工金具	施工金具取付ねじ	本体固定ねじ・ワッシャ	連結ねじ・化粧キャップ	設置工事説明書			
1個	φ5×50mm 5本	φ4.5×63mm 4本	4枚	φ4×28mm 4本 4個			

※据付ける前に上記部品がそろっているかどうかを必ず確認してください。

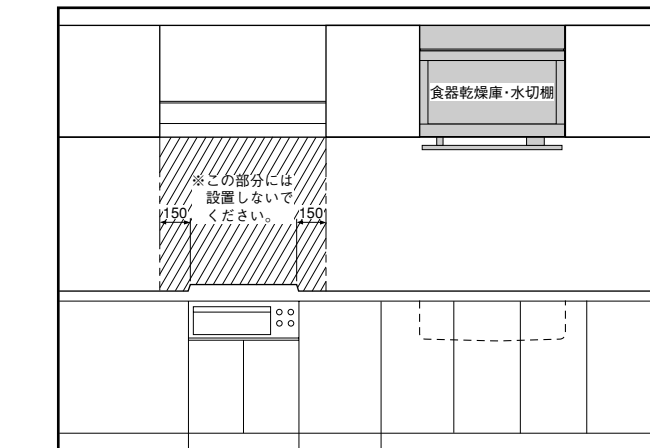
## 取付け場所の確認

### ■取付け壁面の構造および強度



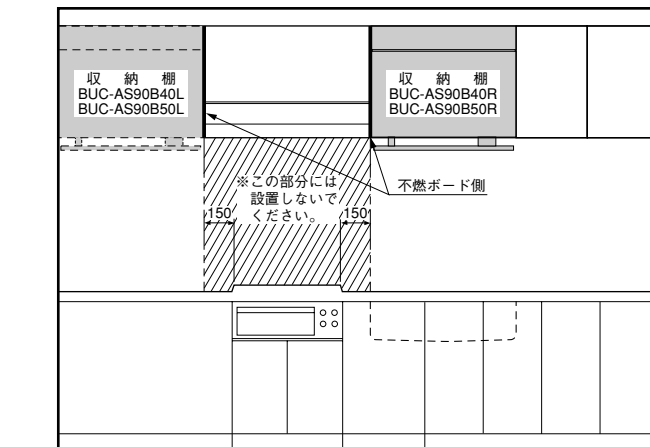
- 庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなります。
- 補強棧の位置および強度を確認し、不具合があれば修正してください。

### ■取付け場所



#### シンク上部に取付ける場合

- ガスこんろ、電気こんろ等の加熱機器や、湯沸器等から150mm以上離して設置してください。（幅600ガスこんろの場合）
- 食器乾燥庫および水切棚の側面は不燃仕様になっていませんのでレンジフードと隣接して取付けしないでください。（但し、収納棚は不燃仕様となっておりますので取付可能です。）

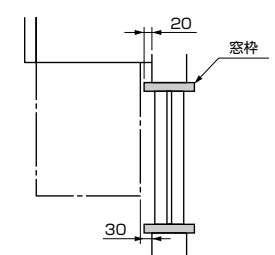


#### 加熱機器等に隣接して取付ける場合（収納棚のみ）

- 形名末尾がRとLの2タイプがあります。レンジフードの右側に取付ける場合はRタイプ、左側に取付ける場合はLタイプを必ず使用のこと。

不燃ボードを使用しているのはキャビネットの右または左のどちらか一方の側面です。

### ■窓枠について



- サッシ等の窓枠の突出寸法は20mm以下にしてください。昇降棚を下降させたときに、当たる恐れがあります。

## 2 取付け荷重について

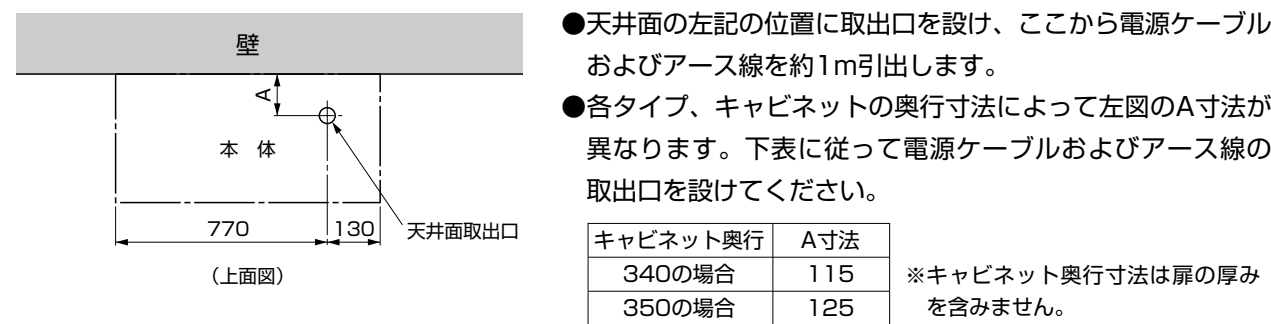
- 製品を取り付けると、壁面にかかなりの負担がかかります。下記に注意しながら取り付けてください。
- 製品庫内に収納物を入れると、総質量は約70kgとなりますので、取付け強度は総質量の3倍を目安としてください。

## 2 据付けの前に

（単位：mm）

## 電気配線

### ■電気配線（AC100V）、アース線の取出位置



## 接地工事

- 漏電による感電事故を防止するために、必ずアースを設けてください。
- アース工事は、電気工事士の有資格者がD種（第三種）接地工事するよう法令で定められています。
- アースは他の電気器具と共用したり、ガス管、水道管への接続は危険ですので絶対におやめください。
- 接地工事終了後は必ず接地抵抗を確認してください。

## 漏電しゃ断器の設置

- 万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。
- 接地工事および漏電しゃ断器の設置は、「電気設備技術基準」および「内線規程」に従ってください。

# 3 据付け工事 (各機種共通)

(単位: mm)

- 補強枠の位置、強度は十分かどうか確認してください。
- 電源ケーブル、アース線の取出口は指定の位置にあるか確認してください。

## 1 本体の取付け

- 扉は耐震ロックが働いていますので少ししか(約5cm)開きません。これ以上無理に開けないでください。
- 本体底面についている箱パッドは必ずつけたままにしてください。

### ■施工金具の取付け

●付属の施工金具取付ねじで、施工金具を壁面に固定します。

### ⚠️注意

**施工金具は水平に取付ける**

水平に取付けると本体が斜めになります。

### ■本体の取付け

●上面パネルの取りはずし  
取付けねじをはずし、上面パネルを取り外します。

●施工金具への取付け  
本体を施工金具に確実に引掛けます。なお、取付けが完了したら、底面の箱パッドをはずします。

### ⚠️注意

**本体が施工金具に確実に取付けられていることを確認する**

引掛けが不十分だと落下の原因になります。

### ■仮配線

●上面パネル部奥に収納されている仮設コードを固定テープをはがし取り出します。

テープ下のナイロンバンド(2本)は電源コードなどの固定に使用しますので切らないでください。

●仮設コードのプラグをコンセント(AC100V)に接続します。

### ■昇降動作の確認

●箱パッドがはずれているか確認します。

●操作部の電源スイッチを一回押し電源を入れます。

●昇降レバーを下げて昇降棚の下降を確認します。下端まで下降すると、自動的に停止します。また、レバーから手を離すと下降を停止します。

●扉は、昇降棚の下降動作に連動して開きます。

●昇降レバーを上げて昇降棚の上昇を確認します。上端まで上昇すると自動的に停止します。また、レバーから手を離すと上昇を停止します。上端まで上昇したときに、扉が閉まることを確認します。

### ■隣接する吊戸棚と本体の連結

●昇降動作の確認後に隣接する吊戸棚や化粧パネルと本体を連結ねじにて連結します。

●連結は、左右各2箇所で行ってください。

●吊戸棚下面、本体キャビネット下面に段差がないように取付けてください。

●連結ねじは吊戸棚側からもしくは本体内側から指定の範囲をさけて締め付けてください。(連結ねじ不可範囲を参照)

●締め付け完了後、化粧キャップをねじ頭に付けてください。(吊戸棚側から連結した場合)

●不燃材(24mm厚)側から締め付けるときにはφ5×35(収納棚のみ)のねじを使用してください。

### ■本体の固定

●本体を付属のねじ(φ4.5×63mm、ワッシャ付)で壁に固定します。ねじは壁に密着するまで確実に固定してください。※必ず4ヵ所固定してください。

### ■仮設コードの収納

●電源プラグを抜き、仮設コードを束ねて本体内に収納する。(仮設コードは電気工事での取りはずします)

●上面パネルを取付け(仮止め)ます。

## 2 電気配線

●元電源(室内ブレーカ)が「OFF」になっていることを確認してください。

### ■上面パネルの取りはずし

●取付けねじをはずし、上面パネルを取りはずします。

### ■仮設コードの取りはずし

●電源端子部から仮設コードを取りはずします。取りはずした仮設コードは必ず破棄してください。

### ⚠️注意

**仮設コードで本配線しない**

異常発熱をして火災の原因となります。

### ■電源コード、アース線の接続

●電源コード、アース線を本体内に引込みます。

### ⚠️警告

電源コードやアース線が昇降ベルトの金属部品の端面に触れない

コードが傷付き火災や感電の原因となります。

●電源コード、アース線をナイロンバンドで固定します。なお、電源コード、アース線が長い場合はカットしてください。

●電源コードはVVFケーブル(φ1.6またはφ2.0)を使用し、被覆部まで確実に差し込んでください。接続後、コードを引っ張って接続が確かかどうか確認してください。

●アース線は先端に4mmねじ用の丸形圧着端子をつけ、ゆるまないようナットで確実に締め付けてください。

## 3 工事完了後の確認 (試運転)

●元電源(室内ブレーカ)が「ON」になっていることを確認してください。

### 1 取付け状態の確認

●製品の取付けにグラツキのないことを確認する。

### 2 昇降動作の確認

●電源スイッチが入っていることを確認する。

**下降動作**

- ①昇降レバーを下げると、昇降棚が下降する。
- ②レバーから手を離すと停止する。
- ③下端まで下降すると自動的に停止する。
- ④下降動作と連動して扉が開く。

**上昇動作**

- ①昇降レバーを上げると、昇降棚が上昇する。
- ②レバーから手を離すと停止する。
- ③オートスイッチを1回押す。
- ④昇降レバーを上げ、レバーから手を離す。
- ⑤上端まで上昇すると自動的に停止する。
- ⑥上昇動作と連動して扉が閉まる。

### 3 照明の確認

●蛍光管が付いていることを確認する。(蛍光管カバーは、カバーの右側にある化粧ねじをはずして取りはずします。)

●操作パネルの照明スイッチを押し、点灯することを確認する。

●食器乾燥庫について(収納棚および水切棚は除く)

●操作パネルの「乾燥」スイッチを押して乾燥運転を行い、排気口周辺(扉下部)から温風が出ることを確認する。※昇降棚が下がっている状態では乾燥スイッチは入りません。

## 外形寸法 (単位: mm)

記号	A	B	C	D
BUC-AD90B40タイプ	115	340	290	30
BUC-AS90B40タイプ				
BUC-AM90B40タイプ				
BUC-AD90B50タイプ	125	350	300	40
BUC-AS90B50タイプ				
BUC-AM90B50タイプ				

※食器乾燥庫、収納棚、水切棚とも外形寸法は同じです。